

西都市

認知症あんしんガイド



この冊子は、認知症の進行に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのかを、認知症の人やご家族等に分かりやすくまとめたものです。

認知症への不安をできる限り少なくし、誰もが安心して自分らしく暮らし続けていくことができるよう、「認知症あんしんガイド」をご活用ください。

【掲載ページ】

- 1 ～ 認知症に対する新しい考え方・西都市の認知症の人や家族の声
- 2 ～ 本人ガイド(本人にとってのよりよい暮らしガイド)
 - ～ 認知症本人大使「希望大使」から西都市へのメッセージ
- 3 ～ 知っていますか？認知症のこと
- 4 ～ 認知症を引き起こす主な脳の病気
- 5 ～ 認知症の進行と主な症状
- 7 ～ 認知症支援ロードマップ
- 9 ～ 希望をかなえるヘルプカード・認知症とともに生きる希望宣言
- 10 ～ オレンジカフェ・元気を出そう会
 - 西都市認知症SOSネットワーク事業(メール・市公式LINE配信、事前登録、見守りシール)
- 11 ～ 認知症サポーター・オレンジパートナー・若年性認知症コーディネーター
- 12 ～ 認知症早期発見チェックリスト
- 13 ～ 相談窓口一覧

2026年5月

認知症になっても安心して暮らし続けられるように その先の生活を一緒に考えてみませんか？

令和6年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され
認知症に対する新しい考え方が広まりつつあります。

「認知症に対する新しい考え方」とは…

認知症になったとしても、個人としてできること・やりたいことが一人
ひとりにあります。住み慣れた地域で仲間等とつながり、生活を工夫す
ることで、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考
え方のことです。

🌸西都市では認知症の人との出会いや声を大切にしています🌸

～ 一足先に認知症になった私からあなたへ ～

西都市の認知症の人・家族の声



Sさん夫妻（80代）

脳は人によって違うけど、認知症
はみんななる可能性があるからね。
病院にすぐ行ってよかった。病
院に行くのを嫌がる人がいるけど、
行った方がいいと思います。



レビー小体型認知症 Mさん（70代）

自分が認知症であると踏み出して言えば
言えなくはないかもしれないが、今はまだ
よう言わん。もう少し年を取ったら言える
のかもしれない…

ちゃんと話せばわかってくれる人もいるの
かもしれないが、見方が変わってしまうの
ではないかと不安です。



レビー小体型認知症（80代）

みんな免許返納について考えていると思う。
高齢者の事故のニュースを見て、みんな怖
いしつらいと思っているはず。かわいい孫
や家族がいるだろうしね。大きなお世話だ
と言われるだろうけど、できれば元気なうち
に返してもらいたい。

家族）早く受診したことがよかった。治
ることはないけど、早く受診して薬を飲
むことによって進行を遅らせることがで
きています。

アルツハイマー型認知症 Kさん（60代）

認知症があっても、認知症がなくても普段
どおり接してもらえるといいです。

家族）道が分からなくなった場合に、地
域に教えてくれる人がいるとよい。以前、
道が分からなくなった時に、隣の人が
教えてくれて大事には至らなかった。



本人ガイドは、一足先に認知症の診断を受け、日々悪戦苦闘しながら、暮らしてきている認知症本人から、「これからをよりよく暮らしていくヒントにして欲しい」と願って作られたものです。

認知症の古いイメージに縛られず
新しいイメージを持とう！

「何も分からなくなる」「何もできなくなる」
わけではありません
分かること、出来ることがたくさんあります

暗いトンネルから1日も
早く脱出しよう！
トンネルを抜けると、
可能性が広がる！

1日も早くスタートを
切ろう！
診断は、人生の新たな
スタートライン！

支えられる一方になるわけではありません

- ・自分の力を活かすと、1人でできることが色々あります
- ・新しいことを学んだり、やりたいことにチャレンジできます
- ・家族や地域のために役立てることだってあります



【設置場所】

- 西都市役所 健康ほけん課高齢者支援係
- 西都市北地区地域包括支援センター
- 西都市南地区地域包括支援センター

📄 こちらからもダウンロードできます

JDWG 本人ガイド

🔍 検索

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ

出典：「本人にとってのよりよい暮らしガイド」発行：地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

認知症本人大使「希望大使」より 西都市へメッセージ



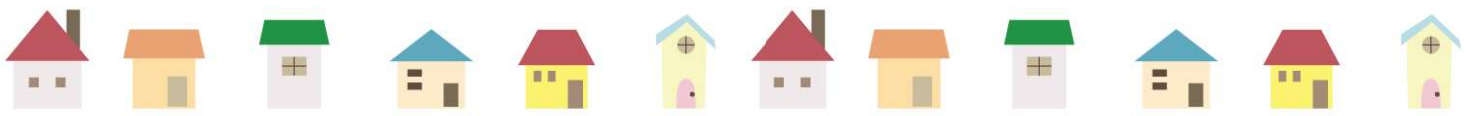
認知症になってからも自分の人生は続いていきます。あきらめずに工夫しながら、自分が決めた道を仲間と共に、歩いていきましょう。その姿が、共生社会へとつながっていきます。

令和6年度西都市認知症フォーラム 基調講演講師
藤田和子氏

認知症になってもあきらめないことと、仲間や家族と一緒に工夫することが大切だと思います。時代は変わりました。「認知症になっても安心な西都市」ではなくて、「安心して認知症になれる西都市」を一緒に作っていきましょう。

令和5年度西都市認知症フォーラム 基調講演講師
丹野智文氏



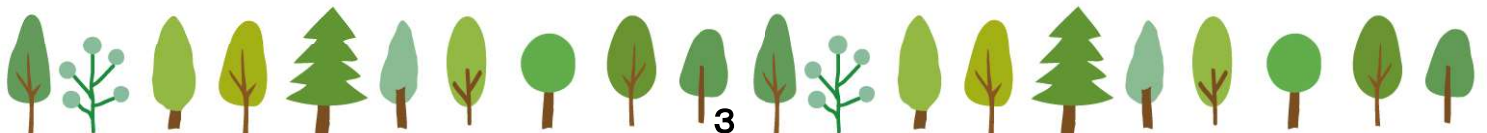
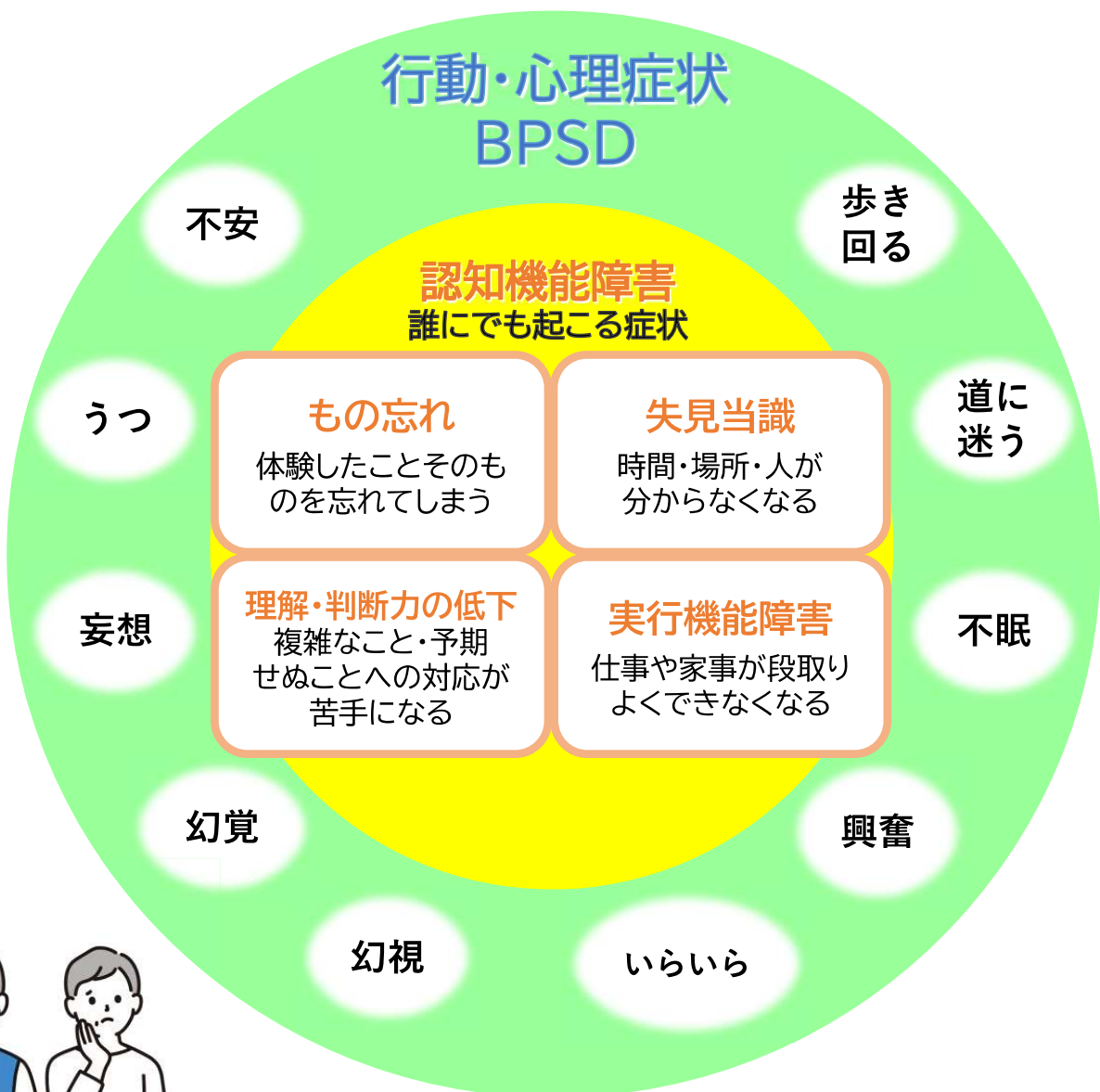


知っていますか？認知症のこと

認知症とは、さまざまな原因により脳に変化がおこり、それまでできていたことができなくなり、生活に支障をきたした状態をいいます。

原因となる病気はさまざまですが、誰にでも起こりうることを理解しておきましょう。

具体的な症状には、もの忘れ、理解・判断力の低下などの「認知機能障害」と、本人の性格や周囲の関わり方、環境などが関係して引き起こされる不安、不眠、幻覚・妄想などの「行動・心理症状(BPSD)」があります。





認知症を引き起こす主な脳の病気

認知症の原因となる病気はさまざまですが、次の4つの疾患に起因するものが日本で確認されている認知症全体の9割以上を占めており、**4大認知症**と呼ばれています。

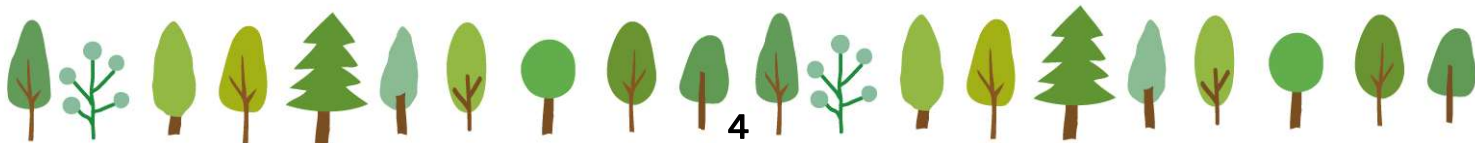
その他にも、内科的な病気や薬の影響で認知症の症状が現れることもあります。

適切な治療で改善できる病気もありますので、自己判断せず早めに受診しましょう。



種 類	症 状	特 徴	進 行
アルツハイマー型認知症	● 最近のことを忘れる ● 身体機能が低下することも多い ● もの忘れの自覚がない（初期には自覚していることもある）	脳内に発生したアミロイドβやタウタンパク質が原因で、脳の神経細胞が影響を受け、脳が萎縮する	緩やかに進行する
レビー小体型認知症	● リアルな幻視・それに基づいた妄想がある ● 手足の震えや筋肉の硬直が起こる（パーキンソン病症状） ● 頭がハッキリしている時と、ボーッとしている時がある	脳内にレビー小体という物質が蓄積されることにより、脳の神経細胞が損傷を受ける	初期には症状に波があり、徐々に進行する
血管性認知症	● 認知機能低下がまだらに起きる ● 片麻痺、嚥下障害、言語障害などの症状が多くみられる	脳梗塞や脳出血などの脳血管性疾患がもとで、脳の神経細胞の働きが低下する	急性で、再発するとそのたびに悪化する
前頭側頭型認知症	● 仕事や家族、趣味などに興味や関心を示さなくなる ● 同じ行動を繰り返す、我慢が苦手になる ● 言葉の意味を理解することが苦手になる	脳の前頭葉や側頭葉が萎縮することで、理性や感情がコントロールできなくなる	進行はゆっくりで年単位で進行することが多い

※アルツハイマー型認知症の軽度認知障害や軽度認知症の人に対し、「レカネマブ」「ドナネマブ」が保険適用となりました。



認知症の進行と主な症状

認知症の進行の仕方や症状は、認知症のタイプ、また周囲の対応の仕方や個人の特性などで異なりますが、時間と共に進行していきます。

ここでは、代表的な認知症であるアルツハイマー型認知症の症状を紹介します。

家族や周囲の人が認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切です。

認知症の進行

本人の様子

心構え・周囲の接し方

認知症ではない

健常

軽度認知障害
(MCI)

認知症疑い

初 期

認知症を有するが
日常生活は自立

健常でもないが認知症でもない状態。日常生活に大きな支障はありません。

- 物の忘れなどの記憶力低下を本人や身近な人は気づいている
- 約束した日時を忘れたり、約束自体を忘れてしまう

脳の活性化や生活の改善により

← **1年で16～41%が
健常へ回復する** (※)

そのままにしておくと

**1年で5～15%が
認知症へ移行する** (※) →

(※) 認知症疾患治療ガイドライン2017より引用

ものの忘れが目立つようになり買い物や調理・お金の管理にミスが見られるようになりますが、日常生活はほぼ自立しています。

- 同じことを何回も言ったり、同じ物を買ったりする
- 電気や水道、ガスを消し忘れることが増える
- ものの置き忘れや紛失が多くなる
- 趣味に興味を示さなくなったり、意欲の低下が見られたりする
- 食事の支度や身支度などの手順が悪くなり時間がかかる
- 着替えや身だしなみ、入浴を面倒くさがるようになる
- 電化製品の使い方にミスが目立つようになる
- 新しいことがなかなか覚えられない

- ★生活習慣の改善に取り組みましょう
- ★適度な運動を勧めましょう
- ★地域行事やボランティア等の社会参加を働きかけましょう
- ★趣味活動の継続を働きかけましょう
- ★いつもと違う様子や困ったことがあれば、かかりつけ医に相談しましょう
- ★希望をかなえるヘルプカード(P9)を使って、自分のやりたいこと・できることを続けていきましょう

- ★本人のできること・できないことを知り、できない部分の手助けをしましょう
- ★以前の生活や経験をもとに、できることを大切にしましょう
- ★本人の状況や介護で困ったことは抱え込まず、身近な人や支援者、相談窓口、認知症サポート医(P13・14)に相談しましょう
- ★オレンジカフェ(P10)で同じ悩みを持つ人と出会い、話をしてみましょう
- ★車の運転や免許返納について、本人と家族で話し合ってみましょう
(安全運転相談ダイヤル #8080)

認知症の進行は、なだらかに進行する人もいれば、段階的に進行する人もいます。経過は個人差が大きく、進行の早さもさまざまで、後期になると身体機能や嚥下機能も低下してきます。

中 期

誰かの見守りがあれば
日常生活は自立

日常的に手助け・
介護が必要

買い物や調理・お金の管理ミスが目立つようになり、身の回りのことで支援や介護が必要になります。

- 物の忘れをしている自覚がない
- ご飯を食べたことなど、体験したこと自体を忘れる
- 薬の管理ができなくなる
- 電話や訪問者の対応が1人では難しくなる
- 時間や場所が分からなくなり道に迷うようになる
- お金の管理が難しくなる
- すぐに興奮するようなこともある

- ★介護保険サービスを上手に利用しましょう
- ★介護の負担が増え始めます。抱え込まずに相談しましょう
- ★介護者自身の健康管理にも気を付けましょう
- ★道に迷うなどの思いがけないことに対する対策を考え、相談しましょう

・認知症SOSネットワーク・事前登録 (P10)
・見守りシール交付事業 (P10)

後 期

常に介護が必要

言葉によるコミュニケーションが難しくなり、ほぼ寝たきりで意思疎通が困難になります。

- 身近な人のことが分からなくなる
- 言葉が出なくなる
- 飲み込みが悪くなり、食事に介助が必要になる
- 歩いたり、座位を保つことが困難になる
- 身の回りのことがほとんどできなくなる
- 表情が乏しくなり、話しかけても反応しなくなる



- ★体調を崩しやすくなり、誤嚥性肺炎や床ずれなどの合併症が起こりやすくなることを理解しましょう
- ★どのような終末期を迎えるか家族間で話し合っておきましょう

認知症支援ロードマップ

認知症なし

認知症初期

認知症中期／後期



まだまだ元気!!
地域のサロンや百歳体操が体力維持・認知症予防につながるよ。

【地域での自主活動】
いきいき百歳体操
お問い合わせ先 ①

高齢者クラブ・みんなのデイサービス
ふれあいいきいきサロン
西都市社会福祉協議会
43-3160



認知症サポーター

認知症サポーター養成講座(P11)を受講した人で、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。
オレンジパートナー (P11)

認知症SOSネットワーク
メール・市公式LINE配信 (P10)



民生委員・児童委員
福祉協力委員
地域の方々が相談・見守り・声かけ活動を行います。

認知症の人が行方不明になることが多いみたい。
早期発見のためにメール登録しよう!

認知症SOSネットワーク(事前登録)
見守りシール(どこシル伝言板)
お問い合わせ先 ①②③ (P10)



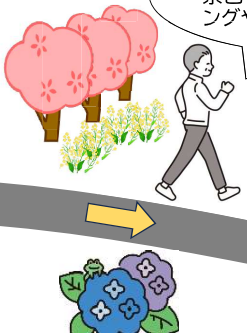
服や持ち物にQRコードの付いたシールを貼って携帯で読み取ると、行方不明の際に家族と掲示板を通じて連絡が取れます。

短期入所介護
※介護保険の認定が必要

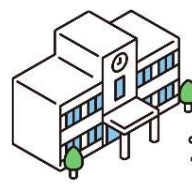
介護者が不在になる場合や介護者の休息のために短期間入所することができます。



本人にとってのよりよい暮らしガイド
希望をかなえるヘルプカード
認知症になってもできることはたくさんあります。これらを利用して、自分にできる・やりたいことにチャレンジしましょう。(P2、9)



西都原の桜がキレイだな。
景色を楽しみながら、ジョギングや散歩を続けよう。



登下校の見守りや庭木の剪定など社会の一員として、まだまだ活躍の場があります。

ボランティアセンター
西都市社会福祉協議会 43-3160
シルバー人材センター
(公社)西都市シルバー人材センター 43-0171

通所介護
通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
訪問介護
※介護保険の認定が必要

配食サービス(安否確認)
お問い合わせ先 ①～⑥

住み慣れた自宅での生活を続けながら安心して暮らせるサービスがあります。



かかりつけ医
認知症サポート医(P14)
オレンジドクター(P14)
認知症疾患医療センター(P14)
認知症初期集中支援チーム(P13)
在宅介護支援センター
地域包括支援センター(認知症地域支援推進員)
お問い合わせ先 ①～⑥



「物忘れが多くなってきた」と感じていませんか?
病院へ行って相談してみましょう!
何事も早めが肝心です。



家で1人悩むより、ここに来て同じような悩みを持った方々と話をしましょう。

オレンジカフェ・元気を出そう会
お問い合わせ先 ②③ (P10)



車の運転も危なくなってきたから
免許返納しようかな。



宮崎県警察の
安全運転相談ダイヤル
「# 8080」
シャブ ハレバレ

認知症の人と家族の会
宮崎県支部 (宮崎市にあります)
0985-22-3803

養護老人ホーム
お問い合わせ先 ①

有料老人ホーム
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
特別養護老人ホーム
※介護保険の認定が必要



施設で暮らす

通所介護
訪問介護、訪問入浴介護
訪問看護、居宅療養管理指導
※介護保険の認定が必要



8

【お問い合わせ先】

①	西都市役所 健康ほけん課 高齢者支援係	32-1028
②	西都市北地区 地域包括支援センター (妻北・穂北・東米良担当)	32-9595
③	西都市南地区 地域包括支援センター (妻南・三納・三財・都於郡担当)	41-0511
④	西都市在宅介護支援センター 幸楽荘	42-1151
⑤	西都市在宅介護支援センター 並木の里	44-6226
⑥	西都市中央在宅介護 支援センター	42-1100
⑦	西都市社会福祉協議会 ●地域福祉課 生活支援係 ●西都市成年後見支援センター	43-4613

○認知症サポート医

かかりつけ医等への助言やアドバイスを、専門医療機関や各地域医師会、包括支援センター等との連携の推進役となる医師のことで

★県内の認知症サポート医
一覧はこちら⇒



○オレンジドクター

認知症の相談に応じ、認知症の疑いを感じたら専門医療機関を紹介し、その専門医や関係機関との連携を行ってくれる医師のことで

★県内のオレンジドクター
一覧はこちら⇒



【市内のもの忘れ外来】

西都病院	
【所在地】	西都市大字調殿1010番地
【電話番号】	43-0143
【診療日】	月～金曜日(予約制) 午前9時～12時 午後1時～4時半
三財診療所	
【所在地】	西都市大字下三財3378番地
【電話番号】	44-5221
【診療日】	毎月第2木曜日(予約制) 午前9時～12時

○認知症疾患医療センター

かかりつけ医や地域福祉等と連携し、認知症の診断や対応、認知症に関する医療相談等を行う医療機関のことで

★県内の認知症疾患医療
センター一覧はこちら⇒



7

希望をかなえるヘルプカード



【相談窓口】

- 西都市役所 健康ほけん課
高齢者支援係 3 2 - 1 0 2 8
- 北地区地域包括支援センター 3 2 - 9 5 9 5
(妻北・穂北・東米良地区担当)
- 南地区地域包括支援センター 4 1 - 0 5 1 1
(妻南・三納・三財・都於郡担当)

西都市 ヘルプカード

検索

自分が行きたいところに、安心して、1人でスムーズに出かけるために、自分が使うカードです。

カードには周りの人にちょっとわかって欲しいことや、頼みたいことを書いておけるフリースペースがあります。

外に出かけるときに持ち歩き、必要な時に周りの人にカードを見せると、頼みたいことが一目で伝わります。

カードのひな形があります。
自分に役立ちそうなひな形を参考にあなたも自分に合ったヘルプカードを作ってみませんか？

自分用のカードを作ってみましょう！

「認知症地域支援推進員」がお手伝いします。

相手に分かりやすいように！
伝えたいことをはっきりと！

行きたいところに1人で行ける。
安心して外出できるように！

わたしは認知症です。
行き方を教えてください。

西都市役所 に行きたい



【住所】
聖陵町2丁目1番地

緊急時の連絡先は裏面にあります

お買い物もちょっとだけお手伝いを
お願いしてみませんか？

お手伝いをお願いします。

機械の操作が苦手です。
支払いに時間がかかることがあります。
ご協力をお願いします。

緊急時の連絡先は裏面にあります

- ・いつも持ち歩くもの
- ・自分からも相手からも見やすい方法で持ち歩きましょう！



財布や名刺入れに入れておく



ネームホルダーに入れたり、
ケースに入れてかばんに付ける

この希望宣言は、認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で生まれたものです。

今とこれからを生きていくために、一人でも多くの人に一緒に宣言をしてほしいと思っています。

この宣言をスタートに、自分も希望を持って暮らしていこうという人、そしてより良い社会を一緒に作っていこうという人の輪が広がることを願っています。

— 認知症とともに生きる希望宣言 —

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

JDWG 希望宣言

検索

毎月
第4 木曜日
13:30 ~ 15:00
※ 変更になる場合
もあります。

オレンジカフェとは？

認知症の人とその家族、地域の人や専門職など誰もが「認知症」というキーワードのもとに集まれる集いの場です。もの忘れで悩んでいる人、認知症と診断されて不安を感じている人やご家族、認知症に関心のある人など、参加をお待ちしています。

お問合せ・申込先

このページに掲載の事業はお住まいの地区の地域包括支援センターへお尋ねください

➔ P13

- 【場 所】 生きがい交流広場（西都市妻町1丁目73番地）他
- 【対象者】 認知症の人やその家族、その他どなたでも参加可能
- 【参加費】 無料
- 【内 容】 交流会、外出、勉強会など

元気を出そう会

毎月
第2 金曜日
13:30 ~ 15:00
※ 変更になる場合
もあります。

元気を出そう会は、認知症の人同士が交流しながらやりたいことをかなえる集いの場です。

会には、オレンジパートナー（P11）も参加し、認知症の人のやりたいことを一緒に挑戦しています。

あなたもオレンジパートナーと一緒にやりたいことを叶えませんか？参加をお待ちしています。

- 【場 所】 生きがい交流広場（西都市妻町1丁目73番地）他
- 【対象者】 認知症の人、オレンジパートナー
- 【参加費】 無料（別途、活動費は実費）



スマートフォンのカメラを近づけると、「メール送信」画面が出てきます。そのまま空メールを送ってください。登録用のメールが自動返信されます。

西都市認知症SOSネットワーク事業

メール・西都市公式LINE配信

認知症による行方不明者を早期発見・早期保護するため、警察からの協力依頼があった場合に、登録者に対しその人の情報をメール・市公式LINEにて配信します。右のQRコードを読み取って、登録をお願いします。

[メール]



[市公式LINE]



事前登録・見守りシール交付事業

認知症による行方不明の恐れがある人を対象に「事前登録」を受け付け、希望される人には「見守りシール」を交付しています。事前登録された情報は、西都市役所、西都警察署、地域包括支援センターで共有し、行方不明になった際に、迅速に対応し、早期発見・早期保護につなげています。



○行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者（家族等）に発見通知メールが届きます。

○発見者はQRコードを読み取ることで、注意すべきことなど対処方法が分かります。また、伝言板を使って、保護者と連絡を取り合うこともでき、発見からお迎えまでが迅速に行えます。



— 見守りシール見本 —

認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。何か特別なことをする必要はありません。



どうすればなれる？

認知症サポーター養成講座を受講されると「認知症サポーター」となります。

申込みはどこにする？

【申込み・問い合わせ先】
西都市役所 健康ほけん課
高齢者支援係
TEL 32-1028

どこで受講できる？

認知症サポーター養成講座は、職場・地域住民・学校などの集まりや仲間同士の勉強会など、受講希望者に応じた内容・場所・人数で開催しています。



※地域で認知症の人を支えるために、認知症サポーター養成講座やそれに準ずる講座を受講された商店・企業・事業所を「認知症サポーター店」として認定しています。現在35店舗の商店と事業所が登録されています。右のシールが認知症サポーター店の目印です。



【申込み・問い合わせ先】 お住まいの地域包括支援センター（P13）

オレンジパートナー

チームオレンジとして、認知症の人とその家族を支える活動（オレンジカフェ・元気を出そう会など）のお手伝いをしています。
認知症サポーター養成講座を受講したあとにステップアップ講座を受講した人が対象となります。あなたも認知症の人と一緒に活動してみませんか？



若年性認知症コーディネーター

65歳未満で認知症を発症した人やその家族への支援を行います。

【申込み・問い合わせ先】

公益社団法人 認知症の人と家族の会 宮崎県支部 内
住 所： 宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス 203号室
受付時間： 月～金曜日（年末年始・祝祭日は除く）
午前9時～午後4時
電話番号： 080-8084-9722
面 談： 要予約・出張相談もあり（秘密厳守）
メール相談： miyazaki-office@rice.ocn.ne.jp



1人で悩んでいませんか？
これからの生活のために
相談してみませんか？

これから仕事はどうなるのだろう？
受診したいがどこへ行ったらいいの？
利用できる制度や相談先が知りたい
経済的なことが心配（ローンや子どもの学費など）

気になる人のために

認知症早期発見のための チェックリスト

認知症の疑いがあるかどうかを、ごく初期の段階で簡単に判断する目安としての確認項目です。
思い当たる項目をチェックしてみましょう。

✓ 欄	チェック項目
☐	今日の日付や曜日が分からないことがある
☐	住所や電話番号を忘れてしまうことがある
☐	何度も同じことを言ったり聞いたりする
☐	買い物でお金を払おうとしても計算できないことがある
☐	ものの名前が出てこないことがよくある
☐	置き忘れ、しまい忘れが多くなった
☐	慣れた道で迷ってしまうことがある
☐	ささいなことで怒りっぽくなった
☐	ガスや火の始末ができなくなった
☐	今まで使っていた洗濯機やリモコンなどの使い方がわからなくなった
☐	本やテレビドラマの内容が分からないことがある
☐	財布や時計などを盗まれたと思うことがよくある
☐	会話の途中で言いたいことを忘れることがある
☐	だらしなくなった
☐	体の具合が悪いわけではないのに、何もやる気が起きない

6項目以上に心当たりがあった人

このチェックリストだけで認知症かどうかを判断することはできませんが、早めに専門の医師に相談することをお勧めします。



相談 窓口

認知症地域支援推進員



認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、医療・介護、及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割を担います。
認知症地域支援推進員は各地区地域包括支援センターに配置されています。

認知症初期集中支援チーム

認知症の早期診断・早期対応を目的に、平成30年4月に設置されました。
各地区の「地域包括支援センター」が相談窓口となり、支援の対象者と判断された場合は、認知症サポート医や医療・福祉・介護の専門職で構成されたチームがご家庭を訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげるお手伝いをします。

【認知症に関する相談】

西都市役所

健康ほけん課 高齢者支援係	西都市聖陵町2丁目1番地	3 2 - 1 0 2 8
---------------	--------------	---------------

地域包括支援センター

西都市北地区地域包括支援センター (妻北・穂北・東米良地区担当)	西都市御舟町2丁目51番地	3 2 - 9 5 9 5
西都市南地区地域包括支援センター (妻南・三納・三財・都於郡地区担当)	西都市大字清水1035番地1	4 1 - 0 5 1 1

在宅介護支援センター

西都市在宅介護支援センター 幸楽荘	西都市大字茶臼原941番地1	4 2 - 1 1 5 1
西都市在宅介護支援センター 並木の里	西都市大字下三財8124番地8	4 4 - 6 2 2 6
西都市中央在宅介護支援センター	西都市御舟町1丁目93番地2	4 2 - 1 1 0 0

【権利や資産管理に関する相談】

西都市社会福祉協議会

地域福祉課生活支援係	西都市大字清水1035番地1	4 3 - 4 6 1 3
西都市成年後見支援センター		

【運転免許返納に関する相談】

宮崎県警察の安全運転相談

安全運転相談ダイヤル	# 8 0 8 0
------------	-----------

認知機能が低下すると、運転操作のミスにつながり、重大な交通事故を引き起こす可能性が高まります。
運転に不安を感じたら、ご相談ください。

【認知症サポート医・みやざきオレンジドクター】

医療機関名	医師氏名 (敬称略)	サポート医	オレンジ ドクター	電話番号
上野医院	上野 尚美		○	4 4 - 5 1 0 0
大塚病院	大塚 直純		○	4 3 - 0 0 1 6
大塚病院	大塚 康二郎		○	4 3 - 0 0 1 6
黒木胃腸科医院	黒木 重晶		○	4 3 - 1 3 0 4
西都児湯医療センター	増田 浩一	○	○	4 2 - 1 1 1 3
西都病院	首藤 謙二	○	○	4 3 - 0 1 4 3
西都病院	細川 英雄		○	4 3 - 0 1 4 3
三財診療所	松本 英裕	○	○	4 4 - 5 2 2 1
鶴田クリニック	鶴田 曜三		○	4 2 - 3 7 4 1
富田医院	富田 雄二	○	○	4 3 - 0 1 7 8
富田医院	富田 祐亮	○	○	4 3 - 0 1 7 8
東米良診療所	濱砂 重仁		○	4 6 - 2 3 3 5

出典：宮崎県ホームページ

認知症サポート医とは？

認知症の人が普段受診する「かかりつけ医」等への助言やアドバイスを行い、専門医療機関や各地域医師会、地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師のことです。

★県内の認知症サポート医一覧はこちら⇒



オレンジドクターとは？

認知症に関する相談に応じ、認知症の疑いを感じたら専門医療機関の受診を促し、専門医や地域包括支援センターなどの関係機関との連携の役割を担う医師のことです。

★県内のオレンジドクター一覧はこちら⇒



【受診できるもの忘れ外来】

医療機関	所在地	電話番号	診療日
西都病院	西都市大字 調殿1010番地	4 3 - 0 1 4 3	月～金曜日（予約制） 午前9時～12時、午後1時～4時半
三財診療所	西都市大字 下三財3378番地	4 4 - 5 2 2 1	毎月第2木曜日（予約制） 午前9時～12時
けいめい 記念病院	東諸県郡国富町 大字岩知野762	(0 9 8 5) 7 5 - 7 0 0 7	月/火/水/金/土曜日（予約制） 午前8時半～12時半、午後1時半～5時半

認知症疾患医療センターとは？

かかりつけ医や地域福祉等と連携し、認知症の診断や対応、認知症に関する医療相談等を行う医療機関のことです。

★県内の認知症疾患医療センター一覧はこちら⇒



西都市認知症あんしんガイド (西都市認知症ケアパス)

2026年5月発行

発 行： 西都市健康ほけん課 高齢者支援係
西都市北地区地域包括支援センター
西都市南地区地域包括支援センター

協 力： 西都市認知症施策推進会議

